

Doctor Interview

医師インタビュー

糖尿病内科

副院長 小松 康之 医師

YASUYUKI KOMATSU



糖尿病専門医の経験と総合診療の視点で、最適な糖尿病治療を提供します。

■ 糖尿病専門医への道を歩んだ原点

糖尿病専門医としての私の原点は、父が開業医をしている北海道の病院で勤務したときの経験にあります。父の診療を手伝う中で、多くの糖尿病患者さんと接し、その治療がいかに難しいかを実感したことが糖尿病専門医を志すきっかけとなりました。

■ 総合診療、糖尿病専門医資格の取得まで道のり

大学卒業後、湘南鎌倉総合病院で研修を修了し、内科の専門知識と技術を磨くために北海道の基幹病院である市立函館病院で勤務しました。ここで血液内科や消化器内科に携わった後、北海道の人口が少ない地域にある病院で、救急医療、小児医療、外傷治療など幅広い分野を担当しました。限られた環境下で、総合診療に必要な幅広いスキルを磨くことができたのは、非常に貴重な経験となりました。

この経験を経て、糖尿病専門医の資格を目指し、認定教育施設である静岡県の富士病院で7年間勤務し、看護師や薬剤師、糖尿病療養指導士といった専門職と密接に連携しながら治療に取り組み、専門医の資格を取得しました。

さらに、糖尿病に対する理解を深めるために東海大学の腎内分泌代謝内科で研鑽を積み、1型糖尿病の方や免疫抑制剤を使用している方、ステロイド治療を受けている方など、血糖コントロールが難しいケースにも積極的に取り組んできました。糖尿病治療は一見シンプルに思えるかもしれませんが、実際には多くの知識と技術が求められる分野です。総合診療で培った基盤と糖尿病専門医としての知識を活かし、重大な合併症を防ぐため、糖尿病の管理に今後も尽力していきたいと考えています。

■ 患者さんに寄り添う総合的なケア

糖尿病患者さんとの関係は長期にわたることが多いため、信頼関係を築くことがとても重要です。私は常に患者さんの声に

耳を傾け、生活背景や家族構成を考慮した寄り添う治療を心がけています。今後は、糖尿病教室や患者さん向けの講演などを通じて、患者さんの理解を深め、治療へのモチベーションを高める活動を進めていく予定です。

■ 地域医療の発展と後進の育成に向けた展望

将来的には、当院でも訪問診療を展開し、地域包括ケアやリハビリテーションを通じて、患者さんの生活の質を向上させることが私の目標です。また、総合診療医専門研修プログラムの責任者を務めた経験を基に、若手総合診療医の育成にも力を注いでまいります。

これからも、患者さん一人ひとりに寄り添いながら、地域医療の発展に貢献してまいります。



■ 専門/得意分野
糖尿病、内科全般

■ 経歴
平成13年 岩手医科大学 卒業

■ 資格/所属学会
日本内科学会総合内科専門医
日本糖尿病学会糖尿病専門医
日本糖尿病協会糖尿病認定医
日本プライマリ・ケア連合学会認定医・指導医
総合診療専門研修特任指導医
日本医師会認定産業医
日本医師会認定健康スポーツ医
難病指定医